

議会だより

No.78

2013年5月1日発行

愛媛県伊予郡
松前町議会

まさき町

3月定例会

2P H25年度当初予算 総額165億6千万円

6P 委員会ニュース

11P H24年度一般会計補正予算127万円減額

12P

一般

質問

- ・インフラの整備について
- ・グループホームなどの防災環境は
- ・小中一貫、連携校導入について
- ・町名をひらがなで「まさき」に変更を
- ・(仮称)町道西古泉筒井線計画の現状は

18P **追跡** あれは、どうなったあ～

『災害に強いまちづくり』 H25年度 予算決定

新規主要事業 今年度からの

- ① 南海トラフ沖地震対策事業
- ② 介護基盤緊急整備事業（グループホームなどの新設準備）
- ③ 未熟児養育医療給付事業（保護者の負担軽減のため）
- ④ えひめ国体施設整備事業（町民グラウンドに人工芝ホッケー場整備）
- ⑤ 街路灯更新事業（老朽化に伴いLED化に）

平成25年3月議会は、3月4日に
招集され21日までの18日間の会期で
開催されました。

本会議には平成24年度一般会計お
よび特別会計補正予算、平成25年度
一般会計・特別会計の当初予算案件
11件、条例案件22件、人事案件1件、
その他議決案件2件の合計36件の議
案が提出され、慎重な審議の結果い
ずれも原案どおり可決しました。（詳
しくは、8・9ページの賛否表をご
覧下さい）

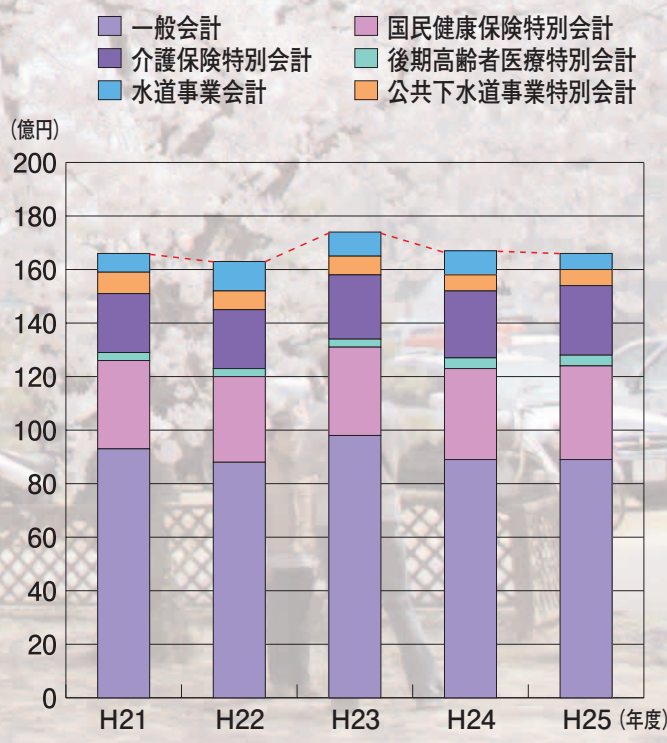
平成25年度の歳入については、町
税収入が伸び悩み傾向で実質的な地
方交付税についても予算を許さない

状況となっています。

歳入は投資的経費が大幅な減額と
なるも、福祉サービスなどの扶助費
や特別会計への繰出金が増加してい
ることなどで、引き続き大幅な財源
不足に陥っており、依然として厳し
い財政状況が続くと予想されます。

このような中でも『災害に強いま
ちづくり』を実現するため防災事業
の充実を図ったり、松前町の特産品
の知名度アップのため全国の物産展
へ積極的に参加するなどして、第4
次総合計画の実現に向けた重点的な
予算配分を行っています。

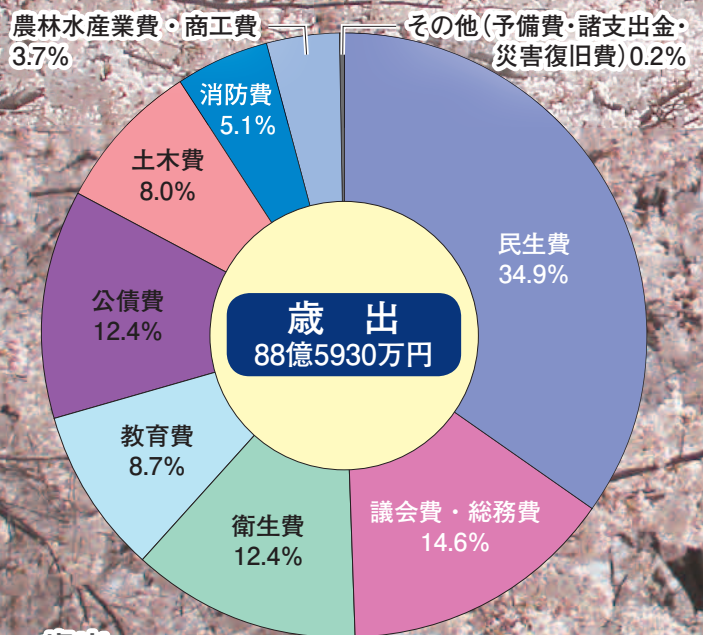
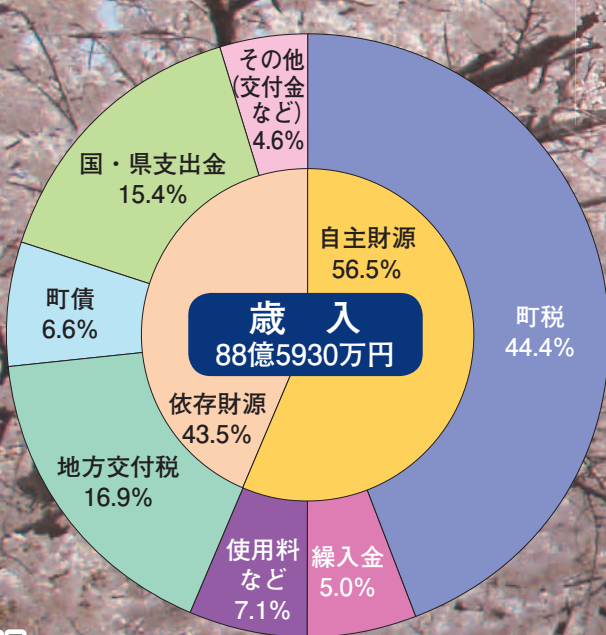
当初予算総額推移



更なる行財政改革で

総額 165億6千万円
一般会計 88億6千万円
特別会計 70億6千万円
水道事業会計 6億4千万円
(前年度比 1億7千万円 減)

平成25年度 一般会計



歳入

町税	住民が納める税金
繰入金	町の貯金を下ろして使う金額
使用料など	町営住宅の家賃、幼稚園・保育所の保育料など
地方交付税	自治体運営の均衡を保つため国から配分される金額
町債	自治体の財源不足を補うための借金
国・県支出金	使う目的が決まっている国や県からの補助金
交付金など	消費税やガソリン税などから地方へ配分される金額
自主財源	自前で賄うことができる財源
依存財源	国や県の補助金や借金に頼る財源

歳出

民生費	障がい者福祉、児童福祉、高齢者福祉、生活保護、福祉医療、国民年金などの事業に要する経費
議会費	議会活動に要する経費
総務費	人事、企画、財政、戸籍、統計や交通安全など他部門に分類されない事業に要する経費
衛生費	成人老人保健、母子保健、廃棄物処理、公害対策などの事業に要する経費
教育費	学習教育、生涯学習、スポーツ振興などの事業に要する経費
公債費	町債(町の借金)を返済する元利償還金(元金と利子)と一時的な借入をした場合の支払利息
土木費	道路、公園や区画整理などの事業に要する経費。下水道事業特別会計への支出も含む。

平成25年度

一 般 会 計 予 算

(主なもの)

(単位：円)

支出区分	平成25年度	平成24年度	差引き	備 考
議 会	1億2,613万	1億2,917万	△ 304万	議員報酬、議会運営に係る事務費など
総 務 管 理	9億2,560万	8億9,563万	2,997万	文書広報、財産管理、企画、コミュニティ対策、防災、情報管理など
徴 税	1億7,248万	1億4,972万	2,276万	税務・賦課徴収
戸籍住民基本台帳	5,324万	4,984万	340万	戸籍・住民基本台帳管理、旅券発給
選 挙	1,719万	301万	1,418万	参議院議員通常選挙など
統 計 調 査	204万	194万	10万	学校基本調査など
監 査 委 員	143万	142万	△ 1万	監査に係る事務費など
社 会 福 祉	19億7,480万	17億7,448万	2億32万	障がい者福祉、社会福祉施設、福祉医療給付、老人福祉、国民年金、人権対策、介護保険、福祉センター管理、国民健康保険、後期高齢者医療など
児 童 福 祉	11億1,734万	11億5,537万	△ 3,803万	放課後児童クラブ、児童措置、母子福祉、母子医療給付、保育所など
保 健 衛 生	4億7,139万	4億7,395万	△ 256万	保健衛生普及、予防、環境衛生、公害対策、乳幼児・児童医療など
清 掃	6億2,566万	7億1,314万	△ 8,748万	廃棄物収集運搬、再商品化処理、焼却負担、し尿処理負担など
農 業	2億4,917万	3億6,861万	△1億1,944万	農業振興、地籍調査など
水 産 業	752万	1,006万	△ 254万	水産業振興
商 工	7,013万	6,994万	19万	商工会補助、まさき町夏祭り補助など
土 木 管 理	8,812万	1億98万	△ 1,286万	土木管理
道路橋りょう	1億7,812万	1億8,244万	△ 432万	道路維持、道路新設改良、街灯など
河 川	2,479万	1,669万	810万	河川維持など
港 湾	62万	64万	△ 2万	港湾管理
都 市 計 画	3億6,072万	4億2,611万	△ 6,539万	公園管理、都市下水路、公共下水道など
住 宅	5,630万	6,588万	△ 958万	住宅管理・改良住宅管理
消 防	4億4,948万	4億3,041万	1,907万	常備消防、非常備消防、水防
教 育 総 務	8,947万	8,620万	327万	教育委員会、事務局など
小 学 校	7,516万	1億2,361万	△ 4,845万	学校管理、教育振興、学校営繕、耐震化
中 学 校	7,215万	1億7,871万	△1億656万	学校管理、教育振興、学校営繕、耐震化
幼 稚 園	7,655万	6,615万	1,040万	幼稚園管理、幼稚園営繕
社 会 教 育	2億7,923万	2億3,542万	4,381万	公民館、文化財保護、図書館、青少年補導センター、文化センターなど
保 健 体 育	1億7,418万	1億1,786万	5,632万	社会体育、給食センター、町民グラウンド管理、松前公園管理など
公 債	10億9,982万	10億8,366万	1,616万	元金、利子
諸 支 出	349万	348万	1万	水資源開発、基金
予 備	1,699万	1,580万	119万	予備費
合 計	88億5,930万	89億3,031万	△ 7,101万	

※△減額 □増額 合計は、端数処理のため一致しません。

特別会計予算

水道事業会計

総額 6億3,783万円

給水戸数 1万860戸
 年間給水量 331万5,058m³
 1日給水量 9,082m³

国民健康保険特別会計

総額 35億181万円

後期高齢者医療特別会計

総額 3億8,152万円

公共下水道事業特別会計

総額 6億599万円

介護保険特別会計

総額 25億7,325万円

一部事務組合予算

総額 2億6,740万円

分担金及び負担金 1億1,300万円
 (内松前町分 5,465万円)

出身地別措置者数(平成25年3月現在)
 松前町…18人 伊予市…14人
 砥部町…4人 組合外…14人



娯楽設備の充実

和楽園

伊予市・伊予郡養護老人ホーム組合

総額 3億8,344万円

分担金及び負担金 3億7,057万円
 (内松前町分 2億3,869万円)



清潔に維持管理されている処理場

塩美園

伊予市松前町共立衛生組合

総額 19億4,399万円

分担金及び負担金 17億7,704万円
 (内松前町分 3億8,710万円)



消防本部とデジタル無線指令設備が完成

各消防署及び聖浄苑

伊予消防等事務組合

総額 4億1,900万円

分担金及び負担金 3億6,062万円
 (内松前町分 1億6,905万円)



高温で処理する燃焼室

伊予地区清掃センター

伊予地区ごみ処理施設管理組合

総務

●主たる事業

- △防災対策事業
- △北伊予中学校校体育館耐震補強工事
- △松前幼稚園耐震補強工事

事

●審査内容の主なもの

- ◎H24年度補正予算関係
問 教育費2,590万円
の増額補正は、学校耐震化工事の入札減少金があり、減額補正になるのでは。

答 小学校費・中学校費は減少するが、幼稚園費に耐震工事を計上するため増額補正となった。

◎H25年度当初予算関係
問 新たな防災対策の事業内容は。

答 「防災対策プロジェクトチーム」や「災害に強い町をつくる会」での検討を受けて、「標高表示」、児童・生徒に「ヘルメット」を支給する。北海道松前町の「災害時の応援協

平成24年度 一般・特別会計補正予算
平成25年度 一般・特別会計当初予算

定」などに要する予算を計上している。

問 北伊予中学校校体育館耐震補強工事だが、窓の強化ガラスへの改修は体育館全面なのか。

また、耐震化工事が終わった他の学校も同様か。

答 強化ガラスは、体育館全面で使用している。工事が終了した他の学校も同様である。

文教

●主たる事業

- △教育基本計画策定事業
- △国体施設整備事業

●審査内容の主なもの

- ◎H24年度補正予算関係
問 文化センター自主事業の内容は。

答 全国で活躍している一流の方を招き、安い入場料でコンサートや講演会などを開催し、町民の文化芸術の振興を目的に実施している。

◎H25年度当初予算関係
問 新たに策定する「松前町教育基本計画」の内容は。

答 5年先の子どもたちのあるべき姿を定め、その姿を実現するための様々な施策や関係機関の役割などを盛り込むものである。



もっと安全に生まれ変わる北伊予中体育館

策定に当たっては、児童生徒、保護者に加え町民の意見も広く取り入れるためアンケートを実施する。基本計画の原案が出来れば、パブリックコメントを実施し、さらに様々な意見を取り入れた計画にしたい。

問 学校生活支援員の増員の理由は。

答 近年の就学に関する動向として、障がい者を含め全ての子どもたちは、地域の学校で学ばせることを原則としている。

問 学校生活支援員の増員の理由は。

答 近年の就学に関する動向として、障がい者を含め全ての子どもたちは、地域の学校で学ばせることを原則としている。

問 愛媛国体に向けたホッケー場整備の計画は。

答 先ず会場となるホッケー場の整備に最優先で取り組みたい。町民グラウンドと体育館の整備などを含む全体計画は今後検討していく。

問 愛媛国体に向けたホッケー場整備の計画は。

答 先ず会場となるホッケー場の整備に最優先で取り組みたい。町民グラウンドと体育館の整備などを含む全体計画は今後検討していく。



学校の一番の楽しみ？

「おもてなし国体」の名に恥じないよう、町民一丸となって取り組みたい。



厚生

●主たる事業

- △心身障がい者福祉事業
- △コミュニティ対策事業
- △未熟児養育医療給付事業

●審査内容の主なもの

- ◎H24年度補正予算関係
問 認定子ども園保育委託料の減額理由は。

答 定員70名の入園見込みが、64名の入園となつたため減額した。

- ◎H25年度当初予算関係
問 コミュニティ施設整備事業の新設広場造成工事の概要は。

答 鶴吉地区が広場を造成する事業に、町が広場造成費の10分の6、100万円を上限に補助する。

- 問 安全なまちづくりワークシヨップの事業内容は。

答 松前町交通安全推進協議会によるワークシヨップを開催し、地域性を生かしたポスターを作り、交通安全

を推進する。

- 問 国民健康保険財政調整基金の状況は。

答 平成23年度末の基金残額は、5,149万4千円。

平成24年度は国保会計のうち後期高齢者支援金分の財源不足を補填するため、2,000万円を取り崩す。

一方、医療分については財政収支の改善が見込まれることから、2,000万円を積立て24年度末の基金残額

は前年度とほぼ同額となる。

- 問 住基カードの現状と今後の取り組みは。

答 県内で松前町だけが無料化を行っていたが4月から有料化する。

発行件数は、現在約2,500件である。

問 コミュニティバスの乗車状況は。

答 24年度は、約2万5千名の利用があり23年度に比べ、2月末現在で千人以上増加している。

産業建設

●主たる事業

- △漁業振興育成対策事業
- △四国労働金庫貸付事業
- △地場産業推進事業
- △町道整備事業
- △公園管理事業
- △防災協力農地登録制度事業

●審査内容の主なもの

- ◎H24年度補正予算関係
特に質疑なし
- ◎H25年度当初予算関係
問 災害時の協力農地周知看板の周知時期及び農地の面積などの基準は。

答 協力農地の周知は、今年度から実施する。当面、防災意識の高揚を図る観点から、広く募集を呼びかけるため基準を設けていない。

- 問 商店街街灯などLED化は、工事実施において、周辺住民の意見を取り入れて実施するべきではないか。

答 まちづくり課と連携を取り、住民の意見を

反映したかたちで実施していく。

- 問 ハモなどの加工機の購入に対する漁協の計画及び購入方法は。

答 漁協では、この機械の導入により、6次産業化をめざしていく考えである。

購入に当たっては、入札を基本とし、町が入札方法などを指導していく。

問 貸付事業では、平成24年度から、貸付金を増やしているが、現時点での実績は。

答 教育資金において1件の借り入れがあった。来年度以降は貸付実績がない場合は、廃止も視野に検討していく。

- 問 町道西古泉筒井線の計画概要は。

答 延長約700m、幅員15mで、内訳は、車道3m、自転車通行帯1.5m、植樹帯1m、歩道2mで計画している。

- 問 国から55%の補助を受けて行う事業で、議会

で承認されれば、5月ごろに地元説明会を行う。

- 問 公園の委託は一定の金額を超えれば入札を行うべきではないか。

答 町として、地域の公園は地域の皆さんに管理してもらおう、との考えから地元をお願いしている。

- 問 公園管理費の執行について委託業務の50万円以上は、入札にするべきでは。

答 入札で検討する。来年度実施する大坂での物産展に県からの補助はないのか。



松前町も全国デビュー

みなさん
気軽に利用して
下さいね



- 問 商店街街灯などLED化は、工事実施において、周辺住民の意見を取り入れて実施するべきではないか。

答 まちづくり課と連携を取り、住民の意見を

- 問 国から55%の補助を受けて行う事業で、議会

で承認されれば、5月ごろに地元説明会を行う。

- 問 公園の委託は一定の金額を超えれば入札を行うべきではないか。

答 町として、地域の公園は地域の皆さんに管理してもらおう、との考えから地元をお願いしている。



提出議案への各議員 賛否表

※ △議長 ○賛成 ●反対 「欠」欠席

議案番号・議案名		議員名													
		稲田孔	稲田輝宏	加藤博徳	寺下武	八束正	藤岡緑	村井慶太郎	早瀬武臣	松本一二美	澤田登代一	岡井馨一郎	伊賀上明治	三好勝利	木下淳
18	介護給付等審査会の委員の定数等を定める条例の一部改正	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
19	学校職員の分限に関する手続及び効果に関する条例廃止	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
20	学校職員の懲戒の手続及び効果に関する条例廃止	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
21	奨学資金制度に関する条例廃止	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
22	道路占用料徴収条例の一部改正	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
23	24年度一般会計補正予算（第5号）	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
24	24年度国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
25	24年度介護保険特別会計補正予算（第3号）	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
26	24年度公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
27	24年度水道事業会計補正予算（第2号）	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
28	25年度一般会計予算	欠	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	△	○
29	25年度国民健康保険特別会計予算	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
30	25年度後期高齢者医療特別会計予算	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
31	25年度介護保険特別会計予算	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
32	25年度公共下水道事業特別会計予算	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
33	25年度水道事業会計予算	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
34	北伊予中学校体育館耐震補強工事（建築主体工事） 請負契約の締結	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
35	人権擁護委員候補者の推薦	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
36	町営墓地の新設	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○



3月定例議会

議案番号・議案名		議員名													
		稲田孔	稲田輝宏	加藤博徳	寺下武	八束正	藤岡緑	村井慶太郎	早瀬武臣	松本一二美	澤田登代一	岡井馨一郎	伊賀上明治	三好勝利	木下淳
1	放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部改正	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
2	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
3	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
4	松前町が管理する町道の構造の技術的基準等を定める条例	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
5	松前町が管理する河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
6	公園条例の一部改正	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
7	高齢者、障がい者等の移動等の円滑化のために必要な町道の構造に関する基準を定める条例	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
8	高齢者、障がい者等の移動等の円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
9	町営住宅管理条例	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
10	町営住宅等の整備基準を定める条例	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
11	下水道条例の一部改正	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
12	国有林野の有する公益的機能の維持増進を図るための国有林野の管理経営に関する法律等の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
13	非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
14	町長等の給与の特例に関する条例の一部改正	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
15	新型インフルエンザ等対策本部条例	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
16	災害派遣手当に関する条例の一部改正	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
17	社会福祉法人の助成に関する条例の一部改正	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○

条例一部改正

◎地域主権改革一括法

これまで国で定めていた法律を地域の自主性及び自立性を高めるために整備し直した関係条例（以下、前頁議案番号順に）

① 児童福祉法の改正で放課後児童クラブの設備と運営を町の基準に

②・③ 介護保険法の改正により記録の保存期間を町の基準に
例 2年↓5年

④ 道路法改正により、道路構造、標識の寸法を一部町の基準に

⑥ 都市公園法の改正により公園施設の設置を町の基準に

例 市街地の住民1人当たりの公園面積の努力目標を
5㎡ ↓ 3.8㎡

⑨ 公営住宅法の改正により収入基準を町の基準に

例 入居の際の収入上限を下げ、一般で月額15万8千円
← 11万4千円

⑪ 下水道法の改正により公共下水道の構造、終末処理場の維持管理を町の基準に

◎地域主権改革一括法関連以外の条例改正など

⑭ 引き続き町長、副町長、教育長の給料月額を減額
平成26年3月31日まで10%減

⑮ 新型インフルエンザなどの発生時に住民の生活や経済への影響を最小限にするため対策本部を置き、その組織の規定について制定

⑬ ⑮に関連して災害派

遣手当の範囲を拡充するために必要な改正

⑲・⑳ 学校職員の分限、懲戒に関して法律との整合性を保つため条例を廃止

⑳ 20年以上奨学金の利得もなくこの制度の必要性がなくなったため町の奨学資金制度を廃止

（但し、滞納金の返還についてはその効力を残す）

㉒ 道路使用の多様化に対応するため太陽光発電設備や風力発電設備なども占有許可の対象とする内容の改正

★⑳ 当初予算について
討論
（町道整備事業の内容から）

（仮称）町道西古泉筒井線のルート変更に伴う測量設計委託料を計上すると旧計画案の策定費2,140万円が無駄になる。

税金を有効に生かし計画は最小限の変更に止めるべきだと考える。

【賛】 新年度予算は、限られた財政の中で新たな行政課題や社会情勢の変化に対応するために適切に配分されていると考える。

結果的には、賛成多数で可決採択された。



これからは、下水道も町の基準で維持管理

㉔ 以外の条例改正などが提出議案はすべて全員一致で採択



介護保険サービスにも町の基準が一部適用に

人事案件

⑳ 人権擁護委員の推薦
・提案理由

任期満了に伴う後任委員の推薦
北黒田 武智 温子氏
全員一致で同意



公園施設もより身近な町の基準で



その他の事項

③④ 北伊予中学校体育館
耐震補強工事請負契約
の締結について

一般競争入札について
町内業者の入札資格
の緩和など議論はあつ
たが、今後の理事者側
の検討に委ねるとし
て、全員一致で採択

・契約の方法

一般競争入札

・工期 3月20日～
11月20日

・請負金額

7,535万円

・請負業者

(株)成武建設

(株)成武建設

③⑥ 町営墓地の不足のため
鶴吉に新設

・一本松墓地(仮称)

188㎡

全員一致で採択

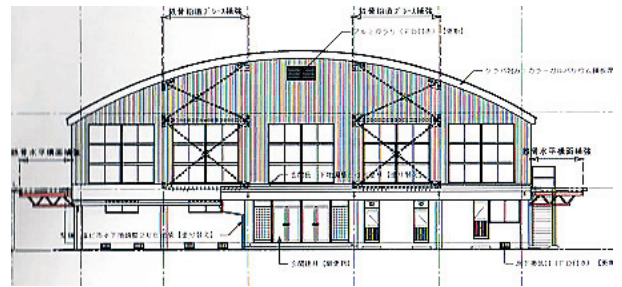
慣れ親しんだ若葉保育所は老朽化のため平成25年3月をもって閉所。(議会でも存続について議論しましたが…)

約60年の歴史に幕を閉じますが、卒園生たちの思い出はずっと心に残るでしょう。



H25.3.23 終園おわかれ会より

地震に強い体育館に!!



(北伊予中学校体育館耐震工事図面より)

平成24年度 一般会計補正予算概要

■予算総額

(単位：円、%)

区分	補正前	補正額	補正後	増減率
本年度	96億6,074万	△127万	96億5,947万	△0.0
前年度	100億4,388万	6億2,588万	106億6,976万	6.2
前年度対比	96.2	△0.2	90.5	

■松前町一般会計補正予算(第5号) 主要事業

(単位：円)

科目	項目	金額
民生費	保育所管理事業	△3,591万
衛生費	共立衛生組合塩美園管理事業	△737万
農林水産業費	土地改良事業(県営事業負担金含む)	△2,138万
土木費	町道整備維持事業	△1,467万
	県営事業負担金(道路・港湾)	576万
教育費	小中学校施設営繕事業(施設耐震化含む)	△2,964万
	幼稚園園舎耐震化事業(松前幼稚園)	6,778万
諸支出金	財政調整基金積立金	2億1,776万
	大規模地震災害対策基金積立金	3,027万



あれこれ 町政を問う

Q インフラの整備について

A 長寿化修繕計画を策定し整備していく



八束 正 議員

問 全国で公共施設（インフラ）の老朽化問題が出始めている。町のインフラ整備箇所がどの程度あり、維持、管理方法や今後の対策は。

答 副町長

町が管理する長さ2メートル以上の道路橋が現在201橋ある。その内、劣化や損傷の進行が認められるものが119橋あり、50年以上のものも4橋ある。

今後、補修や架け替えに多額の費用が必要となる。平成24年度に橋梁長寿化計画を策定し、損傷

皆が使う橋も老朽化が進んでいる



橋の裏もこんなに

が軽微な段階から対応し、低コストで安全を確保し延命を図る。

道路は、25年度に延長50キロメートルの路面調査を行い、舗装点検修繕計画業務を策定する。

町営住宅は、338戸あり141戸が耐用年数を過ぎていく。平成23年

3月に策定した町公営住宅等長寿化計画を基に用途廃止や建替えを行う。

学校施設は、平成22年度から小・中学校の耐震化工事を行い、耐震化率は現在71・4%で今後も継続していく。

問 孤立死対策は

誰も看取ることなく息を引きとり、その後相当期間放置されている孤立死が全国でも問題になっている。

町の考え方や対策は。

答 未然防止に努めよう

保健福祉部長

町では、誰にも看取られることなく亡くなったケースが24年度数件あった。

のふれあい・いきいきサロンの立ち上げ、運営の支援や地区集会所に高齢者が集まりやすくする支援も行っている。

独居高齢者の実態と安否確認を兼ねた日本郵便株式会社への委託による2次予防を実施している。

今後も、各種事業を通じて高齢者とかかわりの機会を増やしていくことで孤立死の未然防止に努めたい。

独居高齢者が約600名おり、定期的に訪問する事業、安否確認を兼ねて食事を配達する事業や急病時に緊急連絡ができる事業を実施している。

高齢者の仲間づくり・生きがいくりのため



♪仲間が集まり楽しく 1・2・3♪～





藤岡 緑 議員

Q グループホームなどの防災環境は

A 国の基準より強化した規定を設けている

現在町内には、3か所の認知症高齢者グループホームがある。こうした地域密着型施設の指定基準は国が定めていたが、今回の法改正で市町村の条例で定めることができるようになった。

その結果、災害の種別に応じた個別計画策定や避難訓練の実施など国の基準より強化した規定を設けている。

① 開催まで4年、プレまでには3年と時間的余裕がさほどない。町民グラウンドにホッケー場を開設する際の周辺施設整備や計画の本身は。

② この機会を町の知名度を上げる地域活性化の目玉として、盛り上げていってほしいのだが、町の考えは。



これから、どんなホッケー場に？



答

保健福祉部長

問 えひめ国体に向けた本格的取り組みは

① 鶴吉の町民グラウンドに新たなホッケー場を整備することは内定した。ただ、幅が不足するため土地を購入し、人工芝で整備する予定。既設の体育館は、中を仕切って役員室など必要なブースとする。トイレ、シャワールの老朽化している部分は状況を見て改修していく。ただし、観客席、ロッカールーム、選手控室

② 国体で愛媛県を訪れる選手や役員、応援の人たちを「おもてなしの気持ち」で迎え松前町の良さを知ってもらうことも大きな目的だ。町の特産品、試食、販売PRなど地域の活性化に繋がることは積極的にやりたい。

問

いざ大きな災害が起こったときに迅速に避難できにくい高齢者が、団体で生活するグループホームなどでは、防災環境整備が生命にかかわる重要な課題だ。

自然災害はもちろんだが、先日他県で起こった火災事故などから、再度町内の同様施設の防火体制と対策、また避難誘導について問う。

今回の事故を受け、防火安全対策の再点検の通知と指導を行った。各施設ともスプリンクラーを設置しているとの報告はあるが、夜間の被害の拡大などに対して自主防災組織や消防団、地域との連携が不可欠だ。今後は、災害時要援護者各人の避難支援プランを作成していく予定だ。

答 地域住民参加型の実行委員会を立ち上げ、準備する

町長

などは基本的に仮設で考えている。宿泊は民泊の検討もしたい。いずれも住民の協力が必要で、今後は実行委員会に委ねたい。

答 体罰の報告はない

教育長

問 小・中学校教育における体罰問題は

クラブ活動や授業などで体罰が行われ自殺に追い込まれるなど深刻な問題が全国で起きている。これを受けて全国的な実態調査が行われているが町内の学校ではどうか。また、特別支援学級などで問題はないのか。

県教育委員会が行った昨年4月から今年1月にかけての体罰実態調査で21件の報告があったが、町内ではない。

授業、部活動においても勝利至上主義に偏った体罰を正当化することは許されない。調査結果で体罰を行った教員が判明すれば厳正に処分する。特別支援学級でも教員の指導、校内巡回などを通し、特に問題はない。

Q 小中一貫、連携校導人について

A 北伊予校区で来年度から検討する



加藤 博徳 議員

問 小・中学校の子供たちが同じ学校で幅広く学ぶことができ、先生や保護者の負担も軽減され、中1ギャップの対策など、利点はたくさんあると思う。教育の町松前町にふさわしい学校づくりを松前町合併60周年の事業として検討しては。

答

教育長

中学校になると学習環境の変化や学習内容の高度化などにより学習意欲や授業の理解度が低下したり、問題行動や不登校が増える中1ギャップが急増する。小中一貫校・連携校への取組みは、これらの対応策の一つとして、また、子供たちの可能性を引き出すことにつながる。

松前町においても十分効果が期待でき、児童・生徒、保護者の理解が得られると判断をしている。県教育委員会とも協議する事項もあるが、でき



れば来年度から北伊予校区で検討する。

問
① 入札業者の入札条件などは
② 選定条件の作成部門・承認者は

町内業者が努力しても入札資格審査と称する形で門前払い状態である。町内業者は、公共事業をしなければランクアップの点数加算ができず、松前町の入札資格条件を満

答
① 参加条件を見直す
② 副町長が委員長
で最終町長が決定
町長

たす点数にならない。町内業者の点数及びランクアップの方法は。

① 一般競争入札も格付ランクBの町内業者が参加できるように、品質の確保を第一に考えた上で、参加できるように見直す。
② 松前町が発注する工事の一般競争入札は、副町長が委員長となり入札参加条件設定委員会が入札参加資格の条件を審議した後、最終決定をして公告をする。また、指名競争入札は、私(町長)が委員長となる入札参加業者選考委員会において、入札業者を選考要綱に基づいて入札案件1件ごとの設計金額に該当する等級により名簿登録業者から選考する。



問 町内業者・準町内業者・町外業者の判断基準は

答 町税の納税義務等を審査する
町長

町内業者は、町内に本店または本社を有し、法人にあっては、松前町内に本店などの法人登記がなされ、当該法人に係る町税の納税義務を有している業者。

問 その他の質問
町内業者が、優先的に仕事ができる仕組みづくりは。
答 できるだけその方向性で努力する。

準町内業者は、建設業法による支店などがあり、かつ、町内にて当該法人に係る町税の納税義務を有するものである。更に、経営業務の管理責任者及び営業所の専任技術者と常時連絡がとれる体制になっていることが主な要件だ。これをもとに審査をして認定し、この認定基準に該当しない業者が町外業者である。





松本 一二美 議員

Q 町名をひらがなで「まさき」に変更を

A 広く意見を聞きながら十分検討する

問 松前町・町制60周年記念行事の一つとして、節目を絶好のイメージアップのチャンスと捉えて「松前町」をひらがなで「まさき町」にすることを提案するが、見解は。

答

町長

漢字からひらがなになると、確かに読みやすくPR効果はあるが、名前を変えるとなると、公文書を含めてさまざまな書替が必要になる。

60年の歴史もあることから、住民の皆さんにアンケートを取るなど、広く意見を聞いた上で十分検討する。



問 障がい者への支援の充実を

① 障がい者への生活支援平等性の観点から、タクシードライバー未利

用者にガソリン利用料金助成を要望するが、見解は。

② 障がい者の自立、就業支援の取り組みと、障害者優先調達推進法への見解は。

答

研究課題とする
保健福祉部長

① タクシー利用助成の趣旨は、交通手段のない重度障がいの方がタクシーを利用した場合に助成をする制度だ。自家用車利用者へのガソリン利用券交付は、検討事項が多く研究課題とする。

② 今後施設との協議や情報収集に努め、物品調達や委託可能作業など整理し対応する。

入札参加資格の要件などは、障害者優先調達推進法の趣旨や障がい者雇用の促進などを反映した契約制度となるよう検討する。

問 食物アレルギー研修の実施を

昨年東京で、学校給食が原因とされる食物アレルギーの重篤な症状「アナフィラキシーショック」で死亡事故が起きた。

当町におけるアレルギー児童・幼児の現状とアレルギー対応は。

緊急事態対応のため、学校や保育所の教職員など関係者全員を対象に、アレルギー研修を実施すべきと考えるが見解は。

答 万が一に備え体制を整える
学校教育課長

アレルギー対応の児童生徒は、来年度には23名。保育所は12名。年々増加している。給食の調理は、

細心の注意を払って献立の作成、成分表のチェックを行っている。教員間で共通認識を持ち、緊急時

はどの教員でも対処ができるようにしている。食物アレルギー研修は実施している学校もあるが、

実施していない学校は、今後指導する。



いっぱい入れてね

問 委託事業の公平化を

公園清掃委託は金額の格差が大きいが、高額な場合は入札すべきではないか。

答 地域と協議中
まちづくり課長

決算特別委員会で業務内容の精査を指摘され、現在地域と協議を行っている。

その他の質問

問 公園管理者連絡協議会開催を

答 設置の考えはない。

問 指定管理制度の導入後、モニタリングと第三者評価の実施を

答 必要性を検討する。

問 商店街・街路灯の考

答 安全・安心を守る観点からも重要。商店街のイメージアップ、コスト削減を図る。

Q (仮称)町道西古泉筒井線計画の現状は

A ルートを見直し、住民の了承を得て実施する



稲田 輝宏 議員

新ルート予定地付近



高架部は安全な避難場所になるのでは



指定管理になる文化センター



計画道路は町道筒井徳丸線から松前公園への避難路や周辺の交通渋滞の緩和などが目的だ。ルートは見直して、町道筒井徳丸線から南進し

町道西48号線との交差点の信号機設置は、今後、時期を捉えて県公安委員会に要望する。

町道筒井徳丸線高架部については標高11m、耐震基準も満たしており、緊急避難場所としては利用可能である。自主防災組織と協

議して周知していく。また、地元雇用率は82・3%である。

答

産業建設部長

25年度に住民説明会を行い、了承を得て詳細設計及び用地測量を実施する。

① 災害弱者の居る施設に災害用戸別受信機の配布を。

② 学校・保育園・福祉施設など公共施設では23ヶ所に設置しているが、民間の福祉施設や病院などは設置していない。要望があれば検討する。

答 現在実施中

教育長

4月1日からの松前総合文化センターや松前公園・多目的広場などの指定管理者制度における現場研修と地元雇用率は

問

防災や交通渋滞緩和対策でもあり、地元への説明会の開催を。

フィット前交差点まで、延長700m、幅員構成は片側として、車道3m・自転車道1.5m・植樹帯1m・歩道2mで全幅15mだ。

問

戸別受信機の配布と避難場所の指定

① 災害弱者の居る施設に災害用戸別受信機の配布を。

答

要望があれば検 副町長

問

指定管理者制度における現場研修と地元雇用率は

研修報告

総務常任委員会

2月12日～2月13日

●研修目的

地震・津波対策

1日目

●研修地

兵庫県淡路市

北淡震災記念公園

●研修内容

淡路島北部に位置し、阪神淡路大震災で甚大な被害を受けた。その時の野島断層が保存・展示されておりその脅威を実感した。



地震でまっすぐな塀が...

2日目

●研修地

徳島県松茂町

●研修内容

徳島県東部で人口約1万5千人、面積13・5km²で、徳島空港や高速バスターミナルなどがあり、交通の要所でもある。海抜が2mと低く、東側に紀伊水道に面した海岸線が4kmある。内閣府の想定では最大津波が6.2mで、町全体が浸水区域となっているため、防災教育や防災訓練が盛んに行われている。



厚生常任委員会

2月21日～2月22日

●研修目的

沿岸地域の防災拠点として「津波防災センター」があり、設定以上の震度で自動開錠され、1,080人を避難収容できる施設である。

資源ごみのリサイクル

1日目

●研修地

内子町大瀬

愛媛たいき農協堆肥センター

●研修内容

平成14年に国の補助事業により生ゴミの堆肥化に取り組んでいる。センターは県道より車で18分程度の山中に有り、地区2,200世帯から出る生ゴミが回収の対象である。90リットルのポリバケツを地区の回収場所に置き、各家庭から出た生ゴミを回収し堆肥センターで選別後、地区から出る牛ふん、豚ふん、微生物を混ぜ発酵分解を繰り返す。約200日程度で完熟堆肥になり、5千円/トンで販売している。

生ごみの中に不要な物が時々混入しているが、

地区の集会、広報などで分別の周知をしている。悪臭も無く、発酵熱で

むろの中は水蒸気が上がり担当者の熱意を感じた。



分別作業はていねいに

アルミなど、プラスチックでは、PP、PS、ABSなどにそれぞれの分離装置により97～98%の精度で分別され、リサイクル率は総合で85%を超えている。

工場内は、気流を作り集塵装置と空調設備を設置し、内部の作業環境3Kなどを指数化して改善している。

ほこり一つ無い工場の中で、分解、分別リサイクルに感嘆した。

2日目

●研修地

兵庫県加東市

パナソニックエコテクノロジーセンター

●研修内容

2001年家電リサイクル法成立と共に操業を開始。現在では、国内24社のテレビ、エアコン、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機を年間70万台処理している。

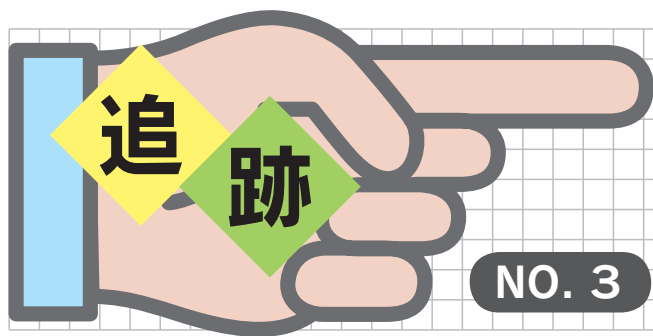
製品ごとに、リサイクル技術を開発することで廃棄物ゼロを目指している。金属では、鉄、銅、



手作業で分解する家電製品

●今後の課題

松前町においても、一歩進めた、生ごみ処理とリサイクル率向上の取組みが必要と感じた。



あれは、 どうなったあ～



★以前に一般質問や委員会などで行政側から「今後の検討課題」との回答だったものが、その後どうなったか追跡し、さらに住民の方へお知らせしていくページ。

町の防災、これまでと今から

- H18～23年で地域自主防災組織結成100% 達成
- H22～ 幼、小、中学校耐震化工事継続中
- 防災リーダーの育成、住民の防災意識向上に向けて
防災マップの配布、地域防災訓練の実施

追跡 No.2でレポート済み



H23・3・11 東日本大震災勃発 死者、行方不明合わせて2万人超

時期	議会からの質問内容	行政側の対応
23・6	①M9クラスの地震でも減災でき原発対策も入った防災計画を ②液状化ハザードマップの作成を	①地域防災計画の大幅な見直し 原発対策も新計画に盛り込む 意見交換の場を持ちたい ②自主防災会連合会の勉強会を開催 (テーマは液状化問題) ③標高差の表示を考えている
23・9	③津波予想の見える化として (校舎、電柱に浸水表示は、海拔表示は) (指定避難場所へのわかりやすい誘導表示を) ④行政からの迅速で正確な情報発信は	④ NTT ドコモと協定、エリアメールの開始、 災害 FM 局の開設は今後検討 ⑤学校施設の避難所としての機能強化とバリアフリー化の事業を順次実施 ⑥移動系防災無線を増設配備 防災カード各戸配布
23・12 24 }\n25・3	⑤小中学校の校舎本体だけでなく備蓄倉庫や屋外便所などの機能強化を ⑥防災無線配備ほか、防災事業の強化を	

24・3 防災担当の副町長が誕生

防災対策プロジェクトチーム課題・対策会議 … 計40回
災害に強い町を作る会の発足 … 企業関係者、住民など19名で構成
(24・11～25・2) 6回の審議を経て、指針まとまる

H25.4～ 防災協力農地の登録募集始まる 小中学校で各自にヘルメット配布

南海トラフ大地震の最大被害想定が発表されて
さらに見直しが必要となる

★今後の課題

- 公民館、保育所などの耐震化は
- 議会は、防災体制のどのポジションに
- 防災道路と防波堤（県事業）の計画は



町民の声

町民目線で

筒井 30代主婦

東日本大震災から二年が経ちました。もし、松前町に地震や津波が起きた時の事を思うと海が近い、山がない、何処が高いのか。一体、私たちが何処に逃げればよいのか、避難場所は何処なのか。簡単な事の様ですが、私のように自宅からの避難場所も知らない町民は数多くいると思います。

昨年、防災担当の副町長が誕生したと聞きまして。早速、ホームページで探してみました。「防災対策強化のため副町長二人制を導入」という広報の記事を読ませて頂きましたが、副町長就任後、松前町民の防災に対する意識は高まってきているのでしょうか？疑問に思っています。日々の生活の中で、町民の多くは防災に対する知識もなく意識も無いに近いと思います。私は子供達と隣の松山市へよく出かけます。子供にこれなに？と聞かれて目にしたのは、避難所までの誘導看板でした。何メートル刻みで避難所まで立ててあります。この誘導看板は子供から高齢者まで誰もがわかりやすく、その看板を目にした時、これはすごい！！素晴らしい！！と感動し、同時に松山市との違いを痛感しました。我が松前町には、その様な親切にわかりやすい表示や看板で避難所まで誘導してくれりません。我が松前町に

も誰もがわかるようにぜひとも作って頂きたいと思えます。調べてみると松前町では標高表示はあるとの事でしたが、松前町に標高表示は必要でしょうか。はつきりいつて意味がない気がします。松山市では、スーパーやコンビニなどいたる所に海拔表示がされており、南予方面にもあります。海も近い松前町には海拔表示は必要だと思えます。何故ないのかも疑問です。松前町でも、どんな

他市町村のよい所を取り入れていくべきです。防災担当の副町長さんをはじめ防災プロジェクトチームの皆さん、高齢者や子供たち・町民の安心・安全をもっと考えて、街づくりに全力で取り組んで頂きたい。誰もがわかりやすい避難所マップの作成や災害に関する冊子など作ってみてはいかがでしょうか。ぜひとも検討して頂き各家庭に配布して頂きたいです。

町民の声の原稿をお寄せ下さい

町政や議会、本誌に対するご意見・ご要望などをどしどしお寄せ下さい。

(500字程度)

【宛先】

松前町筒井631
議会広報編集特別委員会
「町民の声」
Fax 985-4148
E-mail :
500gikai@town.masaki.ehime.jp

傍聴席

議会を傍聴して

西古泉一住民

3月7日の県議会の傍聴に続いて3月11日に松前町議会へも傍聴する機会がありましたので、その一端について感想を述べてみたいと思います。エミフルなどにより地区の交通混雑などで、新道計画があると聞き、また、近所の人も大勢行く

と聞いたので私も行ってみようと思いました。町議会の傍聴は今回が初めてで、本会議場はとも明るく清潔感がありました。傍聴席からみると町長はじめ理事や議員との審議状況が手に取るように判り、とても親しみ易く議会運営が出来ていると感じました。町議会は我々住民の身近な問題を審議し決定する大事な場です。議会の発展の為に

我々一人一人が積極的に傍聴してこそ、地方自治が活性化するものだと痛感しました。また、一地区住民として、一日も早くこの計画道路が完成し、交通混雑が無くなればいいなと思っております。

これからは、機会あるごとに本会議や各常任委員会へも、近所の仲間にも呼びかけ傍聴に行きたいと思えます。

パソコンから傍聴

パソコン傍聴

T・M

子育て奮闘中です。議会を一度も傍聴した事はありません。今回、本議会をパソコンで傍聴できると聞き、体験してみました。感想はというと、まず便利だし大変よいことだとは思いますが、ゆっくり傍聴するだけの時間の

余裕はありません。

私達、子育て世代にも傍聴可能な夜間の開催なら、何とか少しでもという感じです。何より、パソコンで本会議傍聴できる事を初めて知りました。友人にも教えてあげたいと思えます。



傍聴のご案内

住所・氏名・年齢を届けるだけで、どなたでも自由にできます。

松前町議会は、本会議と各常任委員会の傍聴席を設け一般公開しています。

多くのみなさんの傍聴を庁舎5階でお待ちしています。
(次回は6月中下旬の予定です)



松前の公共施設紹介 《第5回》

こんなところですよ！ こんなこともしています！



☆予約できるのが良い
☆夜間も利用している
☆集まり易い場所にある
☆親子で楽しんでいる
☆広い駐車場が無料で嬉
しい

利用者の声

夜間も利用できるテニスコート、野球場対応の多目的広場、クロッケーを楽しむ老人広場や無料で利用できる遊具がいっぱいの子どもの広場があります。

どんな広場か

松前公園周辺施設

(体育館以外)

現在の主な利用料 (夜間利用時は、別に夜間照明料が必要です)

施設名	区分	単位	町内利用者	町外利用者
子ども広場	—	—	無料	無料
庭球場	1面	1時間	600円	720円
老人広場	1面	半日	500円	600円
多目的広場	全面	1時間	1,000円	1,200円
	半面	1時間	500円	600円

特典

- *子ども広場は無料！
- *広い駐車場も無料！
- *エミフル松前と隣接

大人気・遊具がいっぱいの子ども広場

色々使える老人広場

野球もOKの多目的広場



松前公園体育館事務所
松前町筒井638番地
TEL.FAX 984-7227



この広報紙は、資源保護と環境に配慮して大豆油インキ、再生紙で作成しています。

- 議会広報編集特別委員会
- 委員長 藤岡 緑
 - 副委員長 松本一二美
 - 委員 村井慶太郎
 - 委員 八東 正
 - 委員 加藤 博徳
 - 委員 稲田 輝宏
 - 委員 稲田 孔

3月議会が終わり、春爛漫から新緑の美しい季節となりました。

議会としては、本年度の当初予算の審議は、一年分の予算ということで量的にも大変な中、広報編集特別委員のメンバーも頑張って議会報の制作に四苦八苦。一人でも多く町民の人に見てもらえればと日夜、努力しているところです。

今後ともご愛読をよろしく申し上げます。

(村井慶太郎)

編集後記

